

スマートフォン向けアプリビジネスに参入

# カシオが持つ要素技術やアイデアを生かし、スマートフォン向けアプリで新たな価値を提供します。

▶ コンシューマ事業部 企画部長 | 石田 伸二郎



当社は、時計やデジタルカメラ、電卓、電子楽器などのハードウェアメーカーとしてのビジネスに加え、ソフトウェア開発の技術を生かして、2013年10月から2015年3月末までに7つのスマートフォン向けアプリをリリースしました。その具体的な内容や、アプリビジネス参入の目的・今後の目指す方向性などを、コンシューマ事業部 企画部 石田部長に聞きました。

▶ 自動作曲アプリが大人気

これまでにリリースしたアプリの中で最も人気を集めたのが、「Chordana Composer(コーダナ コンポーザー)」です。2小節程度のメロディーをもとに一曲まるごと自動的に作曲するというアプリで、楽器の演奏ができなくても、作曲の知識がなくても、思いついた鼻歌からオリジナルの楽曲を簡単に作ることができます。この斬新さとユニークさが受けて、「コーダナ コンポーザー」はApple社のアプリ配信サイト「App Store(アップストア)」の有料アプリランキングで2位(日本国内の有料音楽アプリ分野では1位)を獲得しました。

実は、発売前の社内では「発想はおもしろい」「そういう(作曲するような)人もいるかもしれない」という評価があ

る一方で、「作曲したものをどのように使っていただけるのか未知数だ」という意見も多くありました。

実際のリリース後の活用で多く見られたのが、YouTubeでの公開でした。自作の楽曲をそのままアップしたり、スライドショーのBGMに利用したり、中には作った曲に合わせて、インターネット上で活躍する仮想アーティストが歌うという凝ったものも見受けられました。「コーダナ コンポーザー」のひとつの世界観として当社が考えているのは、鼻歌で作った楽曲がSNSを通してたくさんの人にシェアされて、最終的には実際の演奏活動につながるなど、



コーダナ コンポーザー使用イメージ

音楽の新たな楽しみ方を創造してゆくというものです。

▶ 社内存在するアイデアや技術を活用して事業を拡大

当社はこれまでに、数多くの製品を世に送り出してきました。ユニークな機能を実現するための基礎技術も開発しています。

そのノウハウを生かして、新しい機能を持つアプリをいち早く世に提供し、より人気の高いものはハードウェアに組み込んで製品化する——そんなビジネスサイクルが当社ならできないのではないか、という可能性を感じました。

現在当社には、アプリ開発につながるユニークなアイデアや技術が数多く存在していますので、どんどん具体的な形にしていきたいと考えています。これまでにリリースしたアプリは、音楽や学習に関連したのですが、他のビジネスフィールド向けにも展開していきたいと考えています。

当社は、計算、時刻、音楽、画像など、世界中どこでも通じる情報を扱う製品で、人々の知的な創造活動をサポートしています。スマートフォン向けアプリにおいても、人間の可能性を広げる新しい価値を提供し、社会に貢献できるビジネスにしたいと思っています。

(特集の内容は、2015年4月の取材をもとに構成しております。)

■ 有料アプリ一覧(アプリ内課金のある無料アプリを含む)

リリース	タイトル	対応OS	概要
2013年 10月	Chordana Tap(コーダナ タップ)	iOS	画面上のバーチャル楽器をタップして演奏気分を味わえる。
	Chordana Viewer(コーダナ ビュワー)		楽曲のコード譜を自動解析して表示。
2014年 10月	音楽練習ツール		テンポと音程を確認しながら楽器を練習でき、録音も可能。
	CZ App for iPad		当社製シンセサイザーのベストセラー「CZシリーズ」をiPad上で再現。
2015年	Chordana Composer(コーダナ コンポーザー)		2小節程度のメロディーから1曲まるごと作曲。
	キーワード頭出し ボイスレコーダー		録音済みの音声から聞きたい部分を文字入力で検索。
	撮ってキャラスタジオ		顔写真からキャラクター画像を自動作成。

※サービス名・製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。